

《編集後記》

『日蓮学』第一号をお届けいたします。本号は第一号として身延山大学長 浜島典彦先生と本研究所長 望月海慧先生より「巻頭言」を頂き、さらに創刊号として特別に平成二十八年十二月に行われました身延山大学京都特別公開講座「今なぜ日蓮学か」の講演録をまとめ、収録致しました。

三輪是法先生の講演録である「日蓮学入門」では、聖人の仏教の核心について「なぜ『法華経』を信仰するか」、そして「なぜお題目を唱えるのか」を二大テーマとして述べられています。

次に筆者の講演録「遺文からみる日蓮聖人のおひとがら」は、聖人の人物像について特に著書と書状の文言にあらわれる「聖人のおひとがら」について述べたものであります。

最後に岡田真水先生は「世界基準・新しい日蓮聖人像」と題して講演され、聖人が世界的な視野を持ち、時代を正しく見据えられていたことを指摘されており、現代に生きる私達が改めてそれらを理解し、世に発信していかなければならないことを述べられています。

そして最後に筆者が、本研究所の前身である「身延山大学東洋文化研究所」時代からの継続事業である「ラオス仏像修復プロジェクト」について、今までの経緯とその内容をまとめました。

末筆ですが、今後この『日蓮学』が正宗の教学という狭い枠にとらわれること無く、世界的に認知されることを切に願い、第一号の編集後記と致します。

(木村中一記)